

蔵前工科高等学校(定時制) 令和6年度 教科国語 科目国語総合 4年間授業計画

教科：国語 科目：国語総合 単位数：2単位

対象学年組：第4学年AE組)

教科担当者：(AE組：小瀬川)

使用教科書：(現代文B(第一学習社)、新編国語総合(教育出版)

使用教材：(surface、常用漢字漢字ワイドアルファ)

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	評論 『鏡としての他者』 榎本博明	・評論の文章がどう論理的に展開しているかを確認し、筆者の主張の特徴を捉える。 ・自身の考えを深め、文章にする。	・定期考査、授業プリント ・評論の構造を理解し、今までの自分について振り返り、社会の中の自分の在り方を認識できている。	6
5月	評論 『鏡としての他者』 榎本博明	・評論の文章がどう論理的に展開しているかを確認し、筆者の主張の特徴を捉える。 ・自身の考えを深め、文章にする。	・定期考査、授業プリント ・評論の構造を理解し、今までの自分について振り返り、社会の中の自分の在り方を認識できている。	6
6月	定期考査 小説 『卒業』 魚住直子	・主人公の心情の変化を読み取る。 ・主人公の立場を自身に引き寄せ、過去と現在と未来の自分について考えを深める。	・定期考査、授業プリント ・生活の変化に伴う人間関係の変化や、気持ちの移り変わりに ついて認識させる。	1 6
7月	小説 『卒業』 魚住直子	・主人公の心情の変化を読み取る。 ・主人公の立場を自身に引き寄せ、過去と現在と未来の自分について考えを深める。	・定期考査、授業プリント ・生活の変化に伴う人間関係の変化や、気持ちの移り変わりに ついて認識させる。	6
8月				
9月	評論 『治具』 塚本由晴	・抽象的な表現方法について具体例をてがかりに理解できるようにする。 ・筆者の考えを自身に引き寄せて自己の考えを深める。 ・漢字の知識を深める。	・定期考査、授業プリント ・筆者の見解を理解し、それについて意見を述べ合っている。	7
10月	評論 『治具』 塚本由晴 定期考査	・抽象的な表現方法について具体例をてがかりに理解できるようにする。 ・筆者の考えを自身に引き寄せて自己の考えを深める。 ・漢字の知識を深める。	・定期考査、授業プリント ・詩的言語の特徴を捉えている。 ・作品や作家について理解している。 ・作品に即して、各自の考えを正確に話し、文章化できている。	6 1
11月	詩 『二十億光年の孤独』 谷川俊太郎	・抽象的な表現方法について具体例をてがかりに理解できるようにする。 ・筆者の考えを自身に引き寄せて自己の考えを深める。 ・漢字の知識を深める。	・定期考査、授業プリント ・詩的言語の特徴を捉えている。 ・作品や作家について理解している。 ・作品に即して、各自の考えを正確に話し、文章化できている。	7
12月	詩 『二十億光年の孤独』 谷川俊太郎 定期考査	・抽象的な表現方法について具体例をてがかりに理解できるようにする。 ・筆者の考えを自身に引き寄せて自己の考えを深める。 ・漢字の知識を深める。	・定期考査、授業プリント 発表 ・詩的言語の特徴を理解できている。 ・作品や作家について理解できている。 ・作品に即して、各自の考えを正確に話し、文章化できている。	6 1

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	表現 『国語常識・敬語表現』	・敬語表現を身に付けるとともに、生徒自身が自らの考えを、言葉にして相手に伝えられるようにする。	・定期考査、授業プリント グループワーク ・様々な場面で必要な敬語表現について、書く・話す・読むことが出来ている。	8
2 月	表現 『国語常識・敬語表現』 定期考査	・敬語表現を身に付けるとともに、生徒自身が自らの考えを、言葉にして相手に伝えられるようにする。	・定期考査、授業プリント グループワーク ・様々な場面で必要な敬語表現について、書く・話す・読むことが出来ている。	7 1
3 月				

蔵前工科高等学校 令和6年度 教科地歴 科目日本史A 年間授業計画

教科：地歴 科目：日本史A 単位数：3単位

対象学年組：第4学年AE組

使用教科書：（高等学校 改訂版日本史A 人・くらし・未来）

使用教材：（授業プリント、パワーポイント等）

	指導内容	科目 日本史A の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション 日本のあゆみ	・学習の方法や評価の仕方を理解する。 ・原始・古代から近世前半までの歴史の大きな流れを概観し、日本のあゆみを振り返り、近現代学習につなげる。	・授業態度 ・ノートや課題の提出 ・欠席や遅刻	12
5月	鎖国と幕末の動乱	・開国に至る経緯と、幕府の対応、その後の開国以後の情勢について、幕府が崩壊した一連の流れを理解する。	・授業態度 ・ノートや課題の提出 ・欠席や遅刻 ・定期考査	12
6月	近代国家の形成	・廃藩置県や封建的身分制度の撤廃など、明治政府の初期の諸政策によって、近代日本の基礎が形成されたことを理解する。 ・明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る、一連の動きを理解する。	・授業態度 ・ノートや課題の提出 ・欠席や遅刻	11
7月	国際関係の推移と近代産業の発展	・明治前半では、条約改正が最大の外交課題であり、この克服においては、国際情勢、国内情勢の推移が密接に関係し、進められたことを理解する。 ・日清・日露戦争のおこった原因と、その結果について理解する。	・授業態度 ・ノートや課題の提出 ・欠席や遅刻 ・定期考査	9
8月				
9月	国際関係の推移と近代産業の発展	・日清・日露戦争を経て、アジア諸国に対して日本が勢力の拡張をおこなったことを理解する。 ・教育の普及、国民統制において教育政策や国家主義的思想が果たした役割について理解する。	・授業態度 ・ノートや課題の提出 ・欠席や遅刻	12
月	第一次世界大戦と日本	・第一次世界大戦に、日本が参戦した意図、日本の外交方針について理解する。 ・第一次世界大戦が、日本に与えた経済的な影響について理解する。 ・大正デモクラシーの風潮のなか、新たな学問・芸術が生まれたこと、さまざまな社会運動が活発になり、女性解放運動も進んだことを理解する。	・授業態度 ・ノートや課題の提出 ・欠席や遅刻 ・定期考査	11
月	第二次世界大戦と日本	・資本主義の発展によって産業構造が変化し、これにともない、都市における貧民問題や労働問題など、さまざまな社会問題が発生したことを理解する ・軍部の台頭の過程とこれにともなう政治的な状況の変化について理解する。	・授業態度 ・ノートや課題の提出 ・欠席や遅刻	11
月	第二次世界大戦と日本	・中国・アメリカを中心とした国際関係の変化にも着目しながら、太平洋戦争に至る過程を理解する。 ・太平洋戦争に至る過程のなかで、国民生活はどのように変化したのかを理解する。また、日本がアジア諸国に対して与えた影響について理解する。	・授業態度 ・ノートや課題の提出 ・欠席や遅刻 ・定期考査	11
1月	日本の再出発 現代の日本	・戦後の深刻な国民生活の実態について理解する。 ・高度経済成長期において、科学技術の発達、産業構造の変化、消費の拡大など、これを機におきた変化の内容について理解する。 ・現在日本がかかえる諸課題について、国際社会での役割、国内的な問題という面から理解する。さらに、個人として果たすべき役割についても考察する。	・授業態度 ・ノートや課題の提出 ・欠席や遅刻 ・定期考査	16
2月				
3月				

都立蔵前工科高等学校 令和6年度 数学 数学活用 年間授業計画

教科：数学科 科目：数学活用 単位数：2単位

対象学年組：第4学年

教科担当者：(浅井)

使用教科書：(数学活用 実教出版)

使用教材：(教科書、独自開発指導用プリント)

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	いろいろな場合の数	樹形図を用いた考え方を理解し、計算によって場合の数を求められるようにする。	授業態度、出席状況、提出物、定期考査の結果等を見て、総合的に判断する。	6
5月	いろいろな場合の数	樹形図を用いた考え方を理解し、計算によって場合の数を求められるようにする。	授業態度、出席状況、提出物、定期考査の結果等を見て、総合的に判断する。	6
6月	図形と人間	過去や現代の生活の中で数学がどのように活用されてきたかを理解し、知識と生活を結び付けて考えられるようにする。	授業態度、出席状況、提出物、定期考査の結果等を見て、総合的に判断する。	8
7月	図形と人間	過去や現代の生活の中で数学がどのように活用されてきたかを理解し、知識と生活を結び付けて考えられるようにする。	授業態度、出席状況、提出物、定期考査の結果等を見て、総合的に判断する。	6
8月				
9月	経済と数学	期待値やローンなどの社会生活の中に存在する抽象的な概念を理解し、計算できるようにする。	授業態度、出席状況、提出物、定期考査の結果等を見て、総合的に判断する。	8
10月	経済と数学	期待値やローンなどの社会生活の中に存在する抽象的な概念を理解し、計算できるようにする。	授業態度、出席状況、提出物、定期考査の結果等を見て、総合的に判断する。	8
11月	測定と数学 コンピュータと人間の活動	紙の規格、地図の縮尺、坂道の勾配、建物の高さの計測などを理解する。また、2進法の特徴を理解し活用できるようにする。	授業態度、出席状況、提出物、定期考査の結果等を見て、総合的に判断する。	8
12月	測定と数学 コンピュータと人間の活動	紙の規格、地図の縮尺、坂道の勾配、建物の高さの計測などを理解する。また、2進法の特徴を理解し活用できるようにする。	授業態度、出席状況、提出物、定期考査の結果等を見て、総合的に判断する。	4
1月	数学と文化 図形と人間	カレンダーの数学、スポーツと数学、長さの単位の歴史について理解する。また、黄金比と2次方程式の関係について理解する。	授業態度、出席状況、提出物、定期考査の結果等を見て、総合的に判断する。	6
2月	数学と文化 図形と人間	カレンダーの数学、スポーツと数学、長さの単位の歴史について理解する。また、黄金比と2次方程式の関係について理解する。	授業態度、出席状況、提出物、定期考査の結果等を見て、総合的に判断する。	8
3月	数学と文化 図形と人間	カレンダーの数学、スポーツと数学、長さの単位の歴史について理解する。また、黄金比と2次方程式の関係について理解する。	授業態度、出席状況、提出物、定期考査の結果等を見て、総合的に判断する。	2

蔵前工科高等学校 令和6年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教科：保健体育 科目：体育 単位数：1単位

対象学年組：第4学年 AE組

教科担当者：(小高 晃)

使用教科書：(最新高等保健体育保健体育改訂版(大修館))

使用教材：()

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・オリエンテーション ・体づくり運動 ・柔軟体操 球技 バレーボール	・年間の授業の見通しを持つ。 ・自己の体力を知るとともに、体力向上を図る。 ・種目の基礎技術を習得する。 ・運動の基礎を学ぶことで総合的な体力の向上を図り、運動することの楽しさや必要性を理解する。 ・互いに協力して、ゲームをできるようになる。	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解する。 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	3
5月	球技 バレーボール	・種目の基礎技術を習得する。 ・運動の基礎を学ぶことで総合的な体力の向上を図り、運動することの楽しさや必要性を理解する。 ・互いに協力して、ゲームをできるようになる。	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	4
6月	種目選択 (サッカー・フットサル ・ターゲットゴルフ ・バスケットボール ・バレーボール ・バドミントン ・テニス ・卓球)	・基礎技術を習得する。 ・運動の基礎を学ぶことで総合的な体力の向上を図り、運動することの楽しさや必要性を理解する。	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	4
7月	種目選択 (サッカー・フットサル ・ターゲットゴルフ ・バスケットボール ・バレーボール ・バドミントン ・テニス ・卓球)	・試合などを通して、公正、協力、責任などの体力を身につける。 ・種目の特性やルールを理解し、自ら積極的に活動できるようにする。	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	2
9月	種目選択 (サッカー・フットサル ・ターゲットゴルフ ・バスケットボール ・バレーボール ・バドミントン ・テニス ・卓球)	基礎技術を習得する。 ・運動の基礎を学ぶことで総合的な体力の向上を図り、運動することの楽しさや必要性を理解する。	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	4
10月	種目選択 (サッカー・フットサル ・ターゲットゴルフ ・バスケットボール ・バレーボール ・バドミントン ・テニス)	・試合などを通して、公正、協力、責任などの体力を身につける。 ・種目の特性やルールを理解し、自ら積極的に活動できるようにする	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	4

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	・卓球)		を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	1
1 1 月	種目選択 (サッカー・フットサル ・ターゲットゴルフ ・バスケットボール ・バレーボール ・バドミントン ・テニス ・卓球)	・各種目の基礎技術を習得する。 ・運動の基礎を学ぶことで総合的な体力の向上を図り、運動することの楽しさや必要性を理解する。	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	4
1 2 月	種目選択 (サッカー・フットサル ・ターゲットゴルフ ・バスケットボール ・バレーボール ・バドミントン ・テニス ・卓球)	・試合などを通して、公正、協力、責任などの体力を身につける。 ・種目の特性やルールを理解し、自ら積極的に活動できるようにする。	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	2
1 月	・選択種目 (バドミントン・卓球・フットサル・バスケットボール・バレーボール) ・持久走	・運動の基礎技術を習得し、総合的な体力の向上を図り、運動することの楽しさや必要性を理解する。 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わうことができる。	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	3
2 月	・選択種目 (バドミントン・卓球・フットサル・バスケットボール・バレーボール) ・持久走	・運動の基礎技術を習得し、総合的な体力の向上を図り、運動することの楽しさや必要性を理解する。 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わうことができる。	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	4
3 月	・選択種目 (バドミントン・卓球・フットサル・バスケットボール・バレーボール) ・持久走	・運動の基礎技術を習得し、総合的な体力の向上を図り、運動することの楽しさや必要性を理解する。 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わうことができる。	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	1

都立蔵前工科高等学校 令和6年度 英語 コミュニケーション英語Ⅰ 年間授業計画

教科：英語 科目：コミュニケーション英語Ⅰ 単位数：2単位

対象学年組：第4学年AE組

教科担当者：(AE組：柳津) (○組：) (○組：) (○組：) (○組：) (○組：)

使用教科書：(VISTA English Communication I 三省堂)

使用教材：()

	指導内容	科目○○の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	Lesson 1 Kerama Blue Lesson 2 Cool Japan Lesson 3 Mexican Dishes	Lesson1～Lesson3の単語と文法事項を復習する。 曜日、季節や天候表現、英語による挨拶の学習。 be動詞、一般動詞の現在形の学習 現在進行形の用法の学習	英会話、音読練習への取組 ワークシート提出、定期考査、パフォーマンステスト	5
5月	Lesson 4 The Olympics Study it! 英作文への取組	近代オリンピックの歴史を知る。 be動詞、一般動詞の現在形の学習 現在進行形の用法の学習 新出単語、表現のリピート練習、ワークシートによる演習。音読テスト。	英会話、音読練習への取組 ワークシート提出、定期考査、パフォーマンステスト	7
6月	Lesson 4 The Olympics Study it! 英作文への取組	近代オリンピックの歴史を知る。 新出単語、表現のリピート練習、ワークシートによる演習。 I think that～を用いて自分の意見を伝える 要約問題への取組	英会話、音読練習への取組 ワークシート提出、定期考査、パフォーマンステスト	7
7月	Lesson5 Baobabs in Madagascar Study it! 英作文への取組	マダガスカルのパオバブの話を通じて環境問題の現状について考える。 新出単語、表現のリピート練習、ワークシートによる演習。 不定詞：名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法について学習。音読テスト。	英会話、音読練習への取組 ワークシート提出、定期考査、パフォーマンステスト	7
8月				
9月	Lesson5 Baobabs in Madagascar Study it! 英作文への取組	マダガスカルのパオバブの話を通じて環境問題の現状について考える。 新出単語、表現のリピート練習、ワークシートによる演習。 不定詞：名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法について学習。音読テスト。	英会話、音読練習への取組 ワークシート提出、定期考査、パフォーマンステスト	6
10月	Lesson6 Toothbrushing in Edo 英作文への取組	浮世絵の話を通じて日本文化について考える。 新出単語、表現のリピート練習、ワークシートによる演習。 動名詞の用法を学ぶ。	英会話、音読練習への取組 ワークシート提出、定期考査、パフォーマンステスト	7
11月	Lesson6 Toothbrushing in Edo 英作文への取組	浮世絵の話を通じて日本文化について考える。 新出単語、表現のリピート練習、ワークシートによる演習。 動名詞の用法を学ぶ。	英会話、音読練習への取組 ワークシート提出、定期考査、パフォーマンステスト	7
12月	Lesson5と6の復習 2学期の文法事項の復習	新出単語、表現のリピート練習、ワークシートによる演習。 動名詞の用法の復習、ショートエッセイの作成。音読テスト。	英会話、音読練習への取組 ワークシート提出、定期考査、パフォーマンステスト	8
1月	Lesson 7 Machu Picchu 英作文への取組	世界遺産のマチュ・ピチュに隠された謎と魅力を考える。 新出単語、表現のリピート練習、ワークシートによる演習。 現在完了形の用法。	英会話、音読練習への取組 ワークシート提出、定期考査、パフォーマンステスト	13
2月	Lesson 7 の復習 3学期の文法事項の復習	新出単語、表現のリピート練習、ワークシートによる演習。 現在完了形の用法の復習、ショートエッセイの作成。音読テスト	英会話、音読練習への取組 ワークシート提出、定期考査、パフォーマンステスト	3
3月				

都立蔵前工科高等学校 令和6年度 教科：工業 科目：課題研究 年間授業計画

教科：工業 科目：課題研究 単位数：2単位

対象学年組：第4学年AE組

教科担当者：(木村) (高橋) (秋本)

使用教科書：()

使用教材：()

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス 課題の設定	(1)作品製作 (2)調査、研究、実験 (3)産業現場等における実習 (4)職業資格の取得	課題の完成度や提出物の提出状況、作業の進捗状況や作業に対する態度、出席状況を総合的に判断して行う。	8
5月	各自が設定した課題により、それぞれ研究を進める。	(1)作品製作 (2)調査、研究、実験 (3)産業現場等における実習 (4)職業資格の取得	課題の完成度や提出物の提出状況、作業の進捗状況や作業に対する態度、出席状況を総合的に判断して行う。	8
6月	各自が設定した課題により、それぞれ研究を進める。	(1)作品製作 (2)調査、研究、実験 (3)産業現場等における実習 (4)職業資格の取得	課題の完成度や提出物の提出状況、作業の進捗状況や作業に対する態度、出席状況を総合的に判断して行う。	8
7月	各自が設定した課題により、それぞれ研究を進める。 一学期の振り返り	(1)作品製作 (2)調査、研究、実験 (3)産業現場等における実習 (4)職業資格の取得	課題の完成度や提出物の提出状況、作業の進捗状況や作業に対する態度、出席状況を総合的に判断して行う。	4
8月				
9月	各自が設定した課題により、それぞれ研究を進める。	(1)作品製作 (2)調査、研究、実験 (3)産業現場等における実習 (4)職業資格の取得	課題の完成度や提出物の提出状況、作業の進捗状況や作業に対する態度、出席状況を総合的に判断して行う。	8
10月	各自が設定した課題により、それぞれ研究を進める。	(1)作品製作 (2)調査、研究、実験 (3)産業現場等における実習 (4)職業資格の取得	課題の完成度や提出物の提出状況、作業の進捗状況や作業に対する態度、出席状況を総合的に判断して行う。	8
11月	各自が設定した課題により、それぞれ研究を進める。	(1)作品製作 (2)調査、研究、実験 (3)産業現場等における実習 (4)職業資格の取得	課題の完成度や提出物の提出状況、作業の進捗状況や作業に対する態度、出席状況を総合的に判断して行う。	8
12月	研究のまとめを行う	(1)作品製作 (2)調査、研究、実験 (3)産業現場等における実習 (4)職業資格の取得	課題の完成度や提出物の提出状況、作業の進捗状況や作業に対する態度、出席状況を総合的に判断して行う。	6
1月	発表の準備	(1)作品製作 (2)調査、研究、実験 (3)産業現場等における実習 (4)職業資格の取得	課題の完成度や提出物の提出状況、作業の進捗状況や作業に対する態度、出席状況を総合的に判断して行う。	8
2月	発表の準備 発表会の実施	(1)作品製作 (2)調査、研究、実験 (3)産業現場等における実習 (4)職業資格の取得	課題の完成度や提出物の提出状況、作業の進捗状況や作業に対する態度、出席状況を総合的に判断して行う。	4
3月				0

都立蔵前工科高等学校 令和6年度 教科：工業 科目：建築法規 年間授業計画

教科：工業 科目：建築法規 単位数：2単位

対象学年組：第4学年AE組

教科担当者：（建築系：木村）（設備系：木村）

使用教科書：（「建築法規」実教出版）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
4月	建築法規の起源	建築法規の歴史の変遷にふれて、その背景と都市社会のルールとしての建築法規の重要性について理解させる。	授業態度、授業への取り組み、ノートの提出状況、これらを総合的に判断して評価する。	2	
	建築法規の意義	個人の自由な意思に基づく建築行為の尊重と、市民社会の最低限のルールとしての建築基準法の必要性や意義を建築の専門家としての立場から理解させる。		2	
	法規の体系と建築基準法の構成	法の成り立ちと建築基準法の体系を理解させるとともに、建築基準法の構成と条文の構成、性能規定のあらましを理解させ、法規の実践的な学習につなげる。		2	
	建築基準法の基礎用語	法令や建築基準法の基本的な用語とともに、法規上定められる面積・高さ・階数などの算定の基準と方法を具体的な事例を通して理解させる。		2	
5月	面積の算定	建築基準法にもとづく面積の算定方法について理解させ、敷地面積や建築面積を正しく求めることができる。	授業態度、授業への取り組み、ノートの提出状況、これらを総合的に判断して評価する。	2	
	建ぺい率・容積率の計算	建ぺい率や容積率を正しく求めることができる。		2	
	各部の高さ	建築物の高さを正しく求めることができる。		2	
	学習のまとめと考査対策	これまでに学習した内容を振り返り、考査問題を解くことができる。		2	
	考査の実施			考査の結果を評価に反映させる。	1
6月	室内環境についての規定	建築基準法にもとづく個々の規定のうち、室内環境に関する規定について理解させる。	授業態度、授業への取り組み、ノートの提出状況、これらを総合的に判断して評価する。	2	
	衛生についての規定	建築基準法にもとづく個々の規定のうち、衛生に関する規定について理解させる。		2	
	日常安全についての規定	建築基準法にもとづく個々の規定のうち、日常安全に関する規定について理解させる。		2	
	学習のまとめと考査対策	これまでに学習した内容を振り返り、考査問題を解くことができる。		2	
7月	考査の実施		考査の結果を評価に反映させる。	1	
	考査の返却			1	
	火災に対する法規制について	防火に関する建築基準法と消防法のあらましについて理解させる。	授業態度、授業への取り組み、ノートの提出状況、これらを総合的に判断して評価する。	2	
8月					
9月	都市計画法の目的	都市計画法の目的、建築基準法の集団既定の意義や目的と効果について理解させる。	授業態度、授業への取り組み、ノートの提出状況、これらを総合的に判断して評価する。	2	
	都市計画区域の区分	都市計画で指定される区域、地域、地区の概要について理解させる。		2	
	用途地域	様々な用途地域の種類と、それらによって制限される建築物について理解させる。		2	
	防火地域・準防火地域	防火、準防火地域内の構造制限などについて理解させる。		2	
	道路の種類と基準	建築基準法における道路の種類と基準について理解させる。		2	
10月	敷地と道路の関係	建築基準法上の道路と敷地に関する規定を理解させる。	授業態度、授業への取り組み、ノートの提出状況、これらを総合的に判断して評価する。	2	
	道路内の建築制限	道路内における建築物について、制限される事項を理解させる。		2	
	学習のまとめと考査対策	これまでに学習した内容を振り返り、考査問題を解くことができる。		2	
	考査の実施			考査の結果を評価に反映させる。	1
	密度に関する規定	密度規制の目的とあらましとともに、それにもとづく容積率、建ぺい率の算定方法を理解させる。		2	

11 月	労働基準法について	労働基準法に定められている原則や制限について理解させる。	授業態度、授業への取り組み、ノートの提出状況、これらを総合的に判断して評価する。	2
	労働契約について	労働契約法にもとづく労働契約について理解させる。		2
	労働安全衛生法について	労働安全衛生法にもとづく安全衛生管理体制について理解させる。		2
	建設業法について	建設業法の目的や、許可される工事の基準について理解させる。		2
12 月	学習のまとめと考査対策	これまでに学習した内容を振り返り、考査問題を解くことができる。	授業態度、授業への取り組み、ノートの提出状況、これらを総合的に判断して評価する。 考査の結果を評価に反映させる。	2
	考査の実施			1
	考査の返却			1
1 月	労働災害について	労働災害に関する状況や発生率、起きた場合の対応や報告について理解させる。	授業態度、授業への取り組み、ノートの提出状況、これらを総合的に判断して評価する。	2
	安全衛生活動について	様々な安全衛生活動の目的や効果について理解させる。		2
	作業の安全について	各種作業の安全や基準について理解させる。		2
2 月	学習のまとめと考査対策	これまでに学習した内容を振り返り、考査問題を解くことができる。	授業態度、授業への取り組み、ノートの提出状況、これらを総合的に判断して評価する。 考査の結果を評価に反映させる。	1
	考査の実施			1
	考査の返却			1
3 月				

東京都立蔵前工科高等学校 令和6年度 教科 工業 科目 建築工学科 年間授業計画

教 科： 建築工学 科 目： 建築施工 単位数： 2単位

対象学年組： 第4学年

教科担当者： (AE組： 米川 誠次) (○組：) (○組：)

使用教科書： (「建築施工」実教出版)

使用教材： ()

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	建築施工のあらまし	・建築施工のもつ意義およびその領域を理解させるとともに、建築施工が地域や社会環境へどのような影響を及ぼしているかなどを考察させる。 ・建築工事の工程について、準備から竣工までの一連の流れの概要を理解させる。 ・建築生産に関係する建築主・設計者・工事監理者・施工者の仕事の役割とお互いの関係を明確に把握させる。	建築施工のあらましを理解し、実際に活用しようとする態度を身につけている。(主体的に取り組む態度)	6
5月	施工方式と工事計画	・建築工事の工程について一連の流れの概要を理解させる。	建築施工の流れに関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築工事の工程の意義や役割を理解している。(知識・技術)	8
6月	仮設工事	・仮設工事の重要性を理解させ、仮設計画図や仮設物の概略について学習させる。 ・縄張り・遣方、ベンチマークの目的を明らかにし、その設営方法を学習させる。	仮設工事の基礎的な知識と技術をもとに、仮設工事の必要性と各種の方法を思考する力を身につけている。(思考・判断・表現)	8
7月	仮設工事	・足場の種類・機能・構成方法を考察させ、労働安全衛生規則・JASS・JISなどの規定を理解させる。 ・工事中の災害を防止する設備にはどのようなものがあるか学習させる。	仮設工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、仮設工事の必要性と各種の方法の意義や役割を理解している。(知識・技術)	6
8月				0
9月	基礎工事と地業工事 躯体工事	・鉄筋コンクリートの標準的な基礎工事の流れを学習させ、その配筋・型枠の組立ての方法を理解させる。 ・地業工事の種類と特徴について学習させる。 ・躯体工事の基本的な流れを把握させ、柱・壁・梁・スラブの各部位について配筋および型枠組立方法を理解させる。	地業工事に関する基礎的な知識と技術をもとに、地盤改良の必要性と各種の工法について思考する力を身につけている。(思考・判断・表現)	7
10月	仕上工事 建築物の保全	・屋根仕上げにおける瓦葺、金属板葺、化粧スレート葺についての工法を理解させる。 ・外壁仕上げにおけるモルタル塗、サイディングボードについての工法を理解させる。 ・外部開口部におけるアルミニウム合金製サッシと木製建具についての工法を理解させる。 ・洋室の仕上げとしての床、天井、壁、階段、造作の工法および塗装について理解させる。 ・和室の仕上げとしての床、天井、壁、造作、建具の工法を理解させる。 ・建築物の保全では、保全の分類と、どのように計画し保全を行うべきかを、耐用年数・費用面などから考察させる。	仕上げ工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、外部・内部仕上げの工法の意義や役割を理解している。(知識・技術)	8
月	解体工事と環境保全 建築物の保守	・解体工法の種類について理解させる。 ・建設副産物の全般について理解させる。 ・建設廃棄物の処理について理解させる。 ・建設資材の再資源化について理解させる。 ・建築物のライフサイクルの考え方とそのマネジメントについて理解させる。	解体工事・環境保全に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築解体工法の意義や役割を理解している。(知識・技術)	8
月	工事用機械について	・建築施工に用いられている工事用機械について理解させる。	工事用機械に関する基礎的な知識と技術を身につけ、各種の工事用機械の特長を理解している。(知識・技術)	6
1月	建築の業務 概算見積	・工事着工時・施工中・竣工時における施工計画・施工管理および各種検査について学習させる。 ・ネットワーク工程表についてその特徴を理解させる。 ・積算とは何か、また建築生産の各過程の中で、どのような目的でどのような積算が行われるかを理解させる。 ・積算に関しての数量・歩掛り・単価など基本的な用語について学習させる。	施工計画と施工管理に関する基礎的な知識と技術をもとに、各種の施工計画・管理について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけている。(思考・判断・表現)	7
2月	入札	・入札を中心とした工事の発注方式について理解させる。 ・工事契約の種類について理解させる。	積算の方法に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、直接工事費の数量積算、共通費の積算の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につけている。(主体的	6

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
			(に取り組む態度)	
3 月				0

東京都立蔵前工科高等学校 令和6年度 教科 工業 科目 建築工学科 年間授業計画

教 科： 建築工学 科 目： 建築工学実習 単位数： 2単位

対象学年組： 第4学年

教科担当者： (AE組： 米川 誠次) (○組：) (○組：)

使用教科書： (新版「建築実習2」)

使用教材： ()

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	事故防止と安全作業 建築技術者の心構え	・安全で健康を害さないように作業を行えるよう、安全や衛生を優先させることを理解させる。	労働安全関係法令に従い、安全で衛生的な環境を整え、作業をしようとする態度を身につけている。(主体的に取り組む態度)	7
5月	金属塗装	・金属塗装の作業工程について、一連の流れの概要を理解させる。	金属塗装の流れに関する基礎的な知識と技術を身につけ、金属塗装工事の工程の作業内容を理解している。(知識・技術)	7
6月	金属塗装	・金属塗装の作業工程について、一連の流れの概要を理解させる。	金属塗装の流れに関する基礎的な知識と技術を身につけ、金属塗装工事の工程の作業内容を理解している。(知識・技術)	7
7月	金属塗装	・金属塗装の作業工程について、一連の流れの概要を理解させる。	金属塗装の流れに関する基礎的な知識と技術を身につけ、金属塗装工事の工程の作業内容を理解している。(知識・技術)	5
8月				0
9月	JWCAD RC造	・CADを利用すると「精度の高い図面がかける」「修正変更等が簡単に行える」「保管や検索が簡単にできる」「データの共有化により作業効率が向上する」等を理解させる。 ・図面の作成は、使用するアプリケーションソフトによって表現方法やファイル形式が変わることを理解させる。	CADシステムの基礎知識、CADシステムの基本的な構成、CADで使用される共有ファイル形式に興味・関心をもち、活用する知識を身につけている。 (主体的に学習に取り組む態度)	6
月	JWCAD RC造	・CADを利用すると「精度の高い図面がかける」「修正変更等が簡単に行える」「保管や検索が簡単にできる」「データの共有化により作業効率が向上する」等を理解させる。 ・図面の作成は、使用するアプリケーションソフトによって表現方法やファイル形式が変わることを理解させる。	CADシステムの基礎知識、CADシステムの基本的な構成、CADで使用される共有ファイル形式に興味・関心をもち、活用する知識を身につけている。 (主体的に学習に取り組む態度)	7
月	墨出し	・縄張り、遣方、ベンチマークの目的を明らかにし、その設営方法を理解させる。	工事の準備に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築敷地の調査、測量の方法の意義や役割を理解しようとしている。(知識・技術)	9
月	壁紙の張替え	・壁紙の張替えの作業工程について、一連の流れの概要を理解させる。	壁紙の張替えの流れに関する基礎的な知識と技術を身につけ、壁紙の張替え工事の工程の作業内容を理解している。(知識・技術)	6
1月	数量算出	・積算とは何か、また建築生産の各過程の中で、どういう目的でどのような積算が行われるかを理解させる。 ・積算に関しての数量・歩掛り・単価など基本的な用語について学習させる。	積算に関する基礎的な知識と技術を身につけ、積算の分類と数量・歩掛り・単価などの基本事項の意義や役割を理解している。(知識・技術)	8
2月	工程表	・工程表の種類とその特色を理解させる。	工程表の作成と日程計算、また工程表の日程変更についても対応できる知識を身につけている。(知識・技術)	8
3月				0

東京都立蔵前工科高等学校 令和6年度 教科 工業 科目 建築工学科 年間授業計画

教 科： 建築工学 科 目： 建築工学実習(設備工業系) 単位数： 2単位

対象学年組： 第4学年

教科担当者： (AE組： 工藤 聡) (O組：) (O組：)

使用教科書： ()

使用教材： ()

	指導内容	科目 建築工学製図の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	事故防止と安全作業 建築技術者の心構え 中央式空調装置を使用して空調の仕組み及び 風量等の測定を行う。	安全指導 冷凍実習機性能実験	自他の安全に配慮して安全な 行動をとるとともに、自ら危 険な環境を改善することがで きる。 冷凍機性能試験機の運転と情 報取得ができる。	6
5月	中央式空調装置を使用して空調の仕組み及び 風量等の測定を行う。	冷凍実習機性能実験 冷凍実習機製造実験 レポート	冷凍機性能試験機の性能試験 をしながら冷凍サイクルにつ いて実際のデータを使い検証 できる 実習機の運転操作と性能につ いてレポートにまとめること ができる。	8
6月	中央式空調装置を使用して空調の仕組み及び 風量等の測定を行う。	中央式空調装置性能試験(冷房)	中央式空調装置を使って運転 し、その調整方法について理 解する。	8
7月	中央式空調装置を使用して空調の仕組み及び 風量等の測定を行う。	中央式空調装置性能試験(冷房) レポート	空調装置の運転操作と冷房性 能についてレポートにまとめ ることができる。	
8月				0
9月	中央式空調装置を使用して空調の仕組み及び 風量等の測定を行う。	中央式空調装置性能試験(暖房)	中央式空調装置を安全に運転 しながら空調の原理を理解で きる。 中央式空調装置を使って運転 し、その調整方法について理 解する。 熱線風速計など計測機器を使 用し、風速や風量などを求め る。	7
10月	中央式空調装置を使用して空調の仕組み及び 風量等の測定を行う。 ・溶接実習	中央式空調装置性能試験(暖房) レポート ・安全指導	空調装置の運転操作と冷房性 能についてレポートにまとめ ることができる。 自他の安全に配慮して安全な 行動をとるとともに、自ら危 険な環境を改善することがで きる。	8
11月	・溶接実習 ・溶接実習	アーク溶接	アーク溶接の基本的技術を学 ぶ。火傷や他の怪我に十分注 意しながら安全に作業する。 アーク溶接の基本的技術を学 ぶ。火傷や他の怪我に十分注 意しながら安全に作業する。	
12月	・溶接実習	ガス溶接	ガス溶接の基本的技術を学 ぶ。爆発などの事故や火傷に 十分注意しながら安全に作業 できる。	
1月	・溶接実習(ガス溶接) ・制御実習	ガス溶接 基本的回路とシーケンス制御	フランジの製作 シーケンス制御実習装置を使 用して、基本的な回路につい て学ぶ。 スプリンクラー設備につい て、制御方法について実習装	

	指導内容	科目 建築工学製図の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
			置を用いて理解する。	
2 月	・制御実習	基本的回路とシーケンス制御	スプリンクラー設備について、メンテナンス方法について実習装置を用いて作業し理解する。	
3 月				

東京都立蔵前工科高等学校 令和6年度 教科 工業 科目 建築工学科 年間授業計画

教科： 建築工学 科目： 建築工学製図 単位数： 2単位

対象学年組： 第4学年

教科担当者： (AE組： 米川 誠次) (○組：) (○組：)

使用教科書： (建築製図 「実教出版」)

使用教材： ()

	指導内容	科目 建築工学製図の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	フリーハンド 鉄筋コンクリート造集合住宅の自主設計	基本的な図面をフリーハンドで作図することにより、スケール感や平面の構成などを感覚的に感じ取り、全体の構成を習得する 与えられた条件から自主設計を行う。	期限までに図面を完成させる 課題条件を読み取り必要な資料のリストを作れる	6
5月	鉄筋コンクリート造集合住宅の自主設計	与えられた条件から自主設計を行う。	資料のリストからエスキスを構成することができる	8
6月	鉄筋コンクリート造集合住宅の自主設計	与えられた条件から自主設計を行う。	エスキスを完成させる	8
7月	鉄筋コンクリート造集合住宅の自主設計	与えられた条件から自主設計を行う。	エスキスを完成させる	6
8月				0
9月	鉄筋コンクリート造集合住宅の製図	基本的なCADの操作 自主設計を行った住宅の製図をCADで行う。	CAD操作の習熟 レイヤーごとに躯体の製図ができる	7
10月	鉄筋コンクリート造集合住宅の製図	自主設計を行った住宅の製図をCADで行う。	躯体の製図を完成させる 間仕切りの製図をレイヤーごとに行える	8
11月	鉄筋コンクリート造集合住宅の製図	自主設計を行った住宅の製図をCADで行う。	間仕切りの製図を完成させる 配管図をレイヤを分けて挿入する	8
12月	鉄筋コンクリート造集合住宅の製図	自主設計を行った住宅の製図をCADで行う。	配管図を完成させる	6
1月	鉄筋コンクリート造集合住宅の製図	自主設計を行った住宅の製図をCADで行う。	系統図を完成させる	7
2月	鉄筋コンクリート造集合住宅の製図	自主設計を行った住宅の製図をCADで行う。	仕様書を完成させる	6
3月				0

東京都立蔵前工科高等学校 令和6年度 教科 工業 科目 建築工学科 年間授業計画

教科： 建築工学 科 目： 建築工学製図(設備工業系) 単位数： 2単位

対象学年組： 第4学年

教科担当者： (AE組： 工藤 聡) (○組：) (○組：)

使用教科書： (設備工業製図 (文部科学省))

使用教材： ()

	指導内容	科目 建築工学製図の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	フリーハンド 鉄筋コンクリート造集合住宅の自主設計	基本的な図面をフリーハンドで作図することにより、スケール感や平面の構成などを感覚的に感じ取り、全体の構成を習得する 与えられた条件から自主設計を行う。	期限までに図面を完成させる 課題条件を読み取り必要な資料のリストを作れる	6
5月	鉄筋コンクリート造集合住宅の自主設計	与えられた条件から自主設計を行う。	資料のリストからエスキスを構成することができる	8
6月	鉄筋コンクリート造集合住宅の自主設計	与えられた条件から自主設計を行う。	エスキスを完成させる	8
7月	鉄筋コンクリート造集合住宅の自主設計	与えられた条件から自主設計を行う。	エスキスを完成させる	6
8月	鉄筋コンクリート造集合住宅の製図	基本的なCADの操作 自主設計を行った住宅の製図をCADで行う。	CAD操作の習熟 レイヤーごとに躯体の製図ができる	0
9月	鉄筋コンクリート造集合住宅の製図	自主設計を行った集合住宅の製図をCADで行う。	躯体の製図を完成させる 間仕切りの製図をレイヤーごとに行える	8
10月	鉄筋コンクリート造集合住宅の製図	自主設計を行った集合住宅の製図をCADで行う。	間仕切りの製図を完成させる 配管図をレイヤを分けて挿入する	8
11月	鉄筋コンクリート造集合住宅の製図	自主設計を行った集合住宅の製図をCADで行う。	配管図を完成させる	6
12月	鉄筋コンクリート造集合住宅の製図	自主設計を行った集合住宅の製図をCADで行う。	系統図を完成させる	7
1月	鉄筋コンクリート造集合住宅の製図	自主設計を行った集合住宅の製図をCADで行う。	仕様書を完成させる	6
2月	鉄筋コンクリート造集合住宅の製図	自主設計を行った集合住宅の製図をCADで行う。		6
3月				0